

第 59 回鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告書

日時：2021 年 12 月 23 日（木） 午後 13 時 00 分から

場所：京都府立大学 合同講義棟第 4 講義室

講師：丸山隼人 先生（北海道大学大学院農学研究院 助教）

「土壌栄養状態に応じた植物-微生物ホロ生命体の 養分獲得分子メカニズム」

参加者：学部学生、大学院生、教員

参加者総数：26 名

丸山先生は今年度、「植物土壌中難利用性リン獲得機構に関する研究」で日本土壌肥料学会奨励賞を受賞された植物栄養学分野における新進気鋭の若手研究者の一人です。

本講演では、植物根への菌根共生が土壌リン獲得に及ぼす影響を遺伝子モジュール解析により解明した最新の研究成果についてご報告いただきました。丸山先生は、菌根共生を行うモデル植物としてミナトカモジグサを利用され、栽培土にはリンを難溶化させやすい黒ボク土を利用されたそうです。この研究によって、低リン土壌における菌根共生の発達に伴うミナトカモジグサのリン輸送トランスポーター遺伝子群（TP3, 7, 12）の発現量増加を動的に捉えることに成功されたとのこと。約 40 分のご発表の後は学生および教員から実験設定の理由確認や解析対象を土壌機能にも拡張することでの土壌生態系全体での相互作用の解明の可能性についてなど、様々な質問が寄せられました。同セミナーは午後 14 時 00 分に終了し、その後も学生から活発な質問が丸山先生に向けられました。

